

一般質問発言通告書

発言順位	3番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年2月14日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 19番 岡田 美喜子

質問事項1	災害に対して安心なまちづくり
具体的内容	本年3月11日に、東日本大震災から14年目を迎える。 日本は昔から多くの自然災害を経験してきた。自然災害は抑制できなくても、災害を最小限に抑え、安心して暮らしていくために災害対策は欠かせない。 昨年1月1日能登半島地震が発生し、輪島市と志賀町では最大震度7を観測し甚大な被害が発生したが、全国では昨年1年間で震度5以上の地震が13回発生している。地震調査研究推進本部の長期評価によると、南海トラフにおいて今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率が80%程度に引き上げられ、より実態に即した備えが必要と考える。 昨年2月定例会の一般質問では、被災地に職員を派遣した際の報告に基づいた課題や教訓を計画やマニュアルに反映し、見直しを図ることが示された。 災害に対して安心なまちづくりを進めるために、三島市の防災、発災時の対応について伺う。
	1 被災地支援により計画やマニュアルはどのように反映し改善されたか。 2 避難所開設訓練等で出された課題と対応について 3 避難所におけるマンホールトイレ設置の条件と進捗状況について 4 避難所のトイレに携帯トイレを常備できないか。 5 災害対応型トイレの設置について 6 発災時の道路修復について優先順位と市の対応について 7 新たな住宅開発や産業集積地の無電柱化を推進してはどうか。
質問事項2	新しい時代における社会教育について
具体的内容	社会教育とは、教育以外で行われる組織的な教育活動のことで、学びの機会や自己肯定感を保ち続ける相互教育が特徴をされている。 静岡県社会教育委員会は、テーマ「新しい時代における社会教育～社会教育を基盤としたウェルビーイングの実現に向けて～社会教育の果たす役割やこれからの社会教育の方向性について」の諮問を受け、昨年11月県教育委員会に答申した。 提言は、「つながり」を意識した活動をすることがウェルビーイングの実現には最も重要であり、新しい時代のすべての人のニーズに応じるために、現在の活動を「つながり」に着目して確認する必要があるとしている。 人口減少、少子高齢化社会を迎え、人と人とのつながりの希薄化、社会的孤立等の課題解決のための社会教育の取組みについて伺う。
	1 社会教育の取組みの現状と課題について 2 社会教育における人材育成の取組みについて 3 市民活動センターの役割りと活用について 4 「つながりチェックシート」の推進について